

# 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
  - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ)本書のご提示がない場合
  - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FM/短波ポータブルラジオ			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RAD-T900Z	品番	07-9819	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな						
	★お名前	様					
	★ご住所 〒	—					電話 ( )
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**OHM** 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは [お客様相談室](#) へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
**0120-963-006 048-992-2735**

電話受付 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は [修理ご相談センター](#) へ

電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

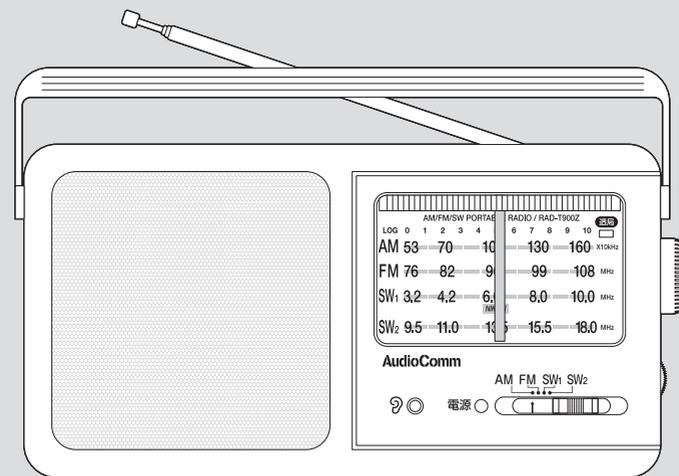
# AudioComm®

## AM/FM/短波ポータブルラジオ

### 保証書付 取扱説明書

型番：RAD-T900Z

品番：07-9819



このたびは、AudioComm® AM/FM/短波ポータブルラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。  
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

## 目次

免責事項	1
安全上のご注意	2~4
静電気に関するご注意	4
各部の名称	5
電源について	6
ラジオを聴く	7~8
イヤホンで聴くときは	9
故障かなと思ったら	9
お手入れのしかた	9
主な仕様	10
保証書とアフターサービスについて	10
保証書	裏表紙

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	<b>危険</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、重傷などを負う可能性が想定される内容です。
	<b>警告</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<b>注意</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

### 絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

## 警告

 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 接続場所を選ぶ	電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		 分解禁止
 乾電池に注意	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。	 水かけ禁止	浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電の危険があります。
		 使用を中止する	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理をご依頼ください。

## 安全上のご注意(つづき)

### 警告

 接触禁止	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電の原因となります。</li> </ul>	 禁止	<p>電源コードを敷物などで覆わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 禁止	<p>本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</li> </ul>		<p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となります。</li> </ul>
	<p>本製品を使用時は必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●付属の電源コードは本製品専用です。</li> <li>●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。</li> </ul>		<p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災の原因となります。</li> </ul>
	<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードが破損して火災・感電の原因となります。</li> </ul>		<p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、テーブルクロスやカーテンなどをかけて通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●過熱して火災・感電の原因となります。</li> </ul>
			<p>海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災の原因となります。</li> <li>●この機器を使うのは日本国内のみです。</li> </ul>

### 注意

 ぬれた手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電の原因となります。</li> </ul>	 乾電池に注意	<p>乾電池は、直射日光、火などの過度の熱にさらさない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●液もれしたり、性能や寿命を低下させるおそれがあります。</li> </ul>
 音量に注意	<p>音量を上げすぎない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長時間大きな音量で聴き続けると、周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を与えることがあります。</li> </ul>		<p>乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となります。</li> </ul>
 コンセントから抜く	<p>お手入れの際や移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</li> </ul>		<p>持ち運びするときは、アンテナをたたむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。</li> </ul>
	<p>旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・液もれの原因となります。</li> </ul>	 アンテナをたたむ	
 清掃する	<p>電源プラグとコンセントの接続部を定期的に清掃する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると、自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にはほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。</li> </ul>	 禁止	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となります。</li> </ul>
			<p>本機の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●発火・感電の原因となったり、けがや破損のおそれがあります。</li> </ul>

### 注意

 禁止	<p>窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となります。</li> </ul>	 禁止	<p>調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</li> <li>●必ずプラグを持って抜いてください。</li> </ul>		<p>電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。</li> </ul>
	<p>指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>		<p>電源コードを熱器具に近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>
			<p>ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</li> </ul>

### 乾電池を安全にお使いいただくために

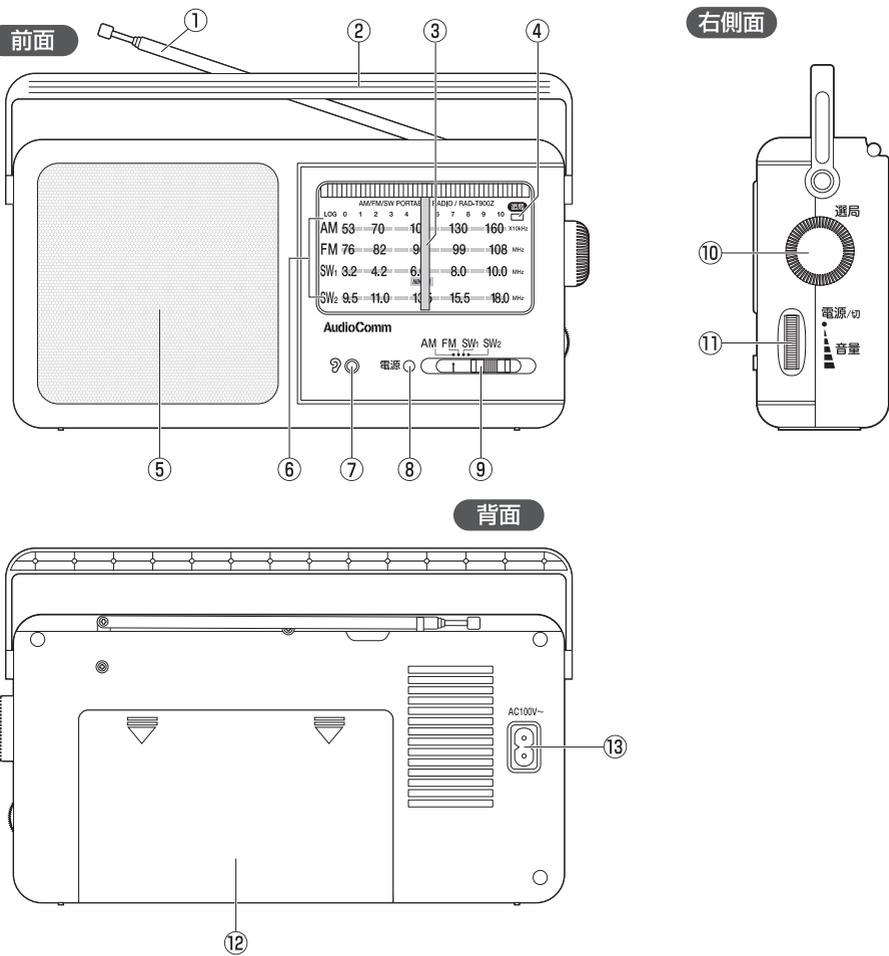
液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火中への投入、加熱、分解をしない</li> <li>・取り外した乾電池を幼児に触らせない</li> <li>・ショートさせない</li> <li>・直射日光や火などの過度の熱にさらさない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。</li> </ul>
 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⊕⊖の表示どおりに入れる</li> <li>・指定以外の乾電池を入れない</li> <li>・使用推奨期限内の乾電池を使用する</li> <li>・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない</li> <li>・使い切った乾電池はすぐに取り出す</li> <li>・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。</li> <li>●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。</li> </ul>

### 静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

## 各部の名称



- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| ① FM / SW ロッドアンテナ | ⑧ 電源ランプ        |
| ② キャリーハンドル        | ⑨ バンド切替スイッチ    |
| ③ 選局指針            | ⑩ 選局ツマミ        |
| ④ 選局ランプ           | ⑪ 電源 / 音量ダイヤル  |
| ⑤ スピーカー           | ⑫ 電池ボックスカバー    |
| ⑥ 選局目盛り           | ⑬ AC100V電源ソケット |
| ⑦ イヤホン端子          |                |

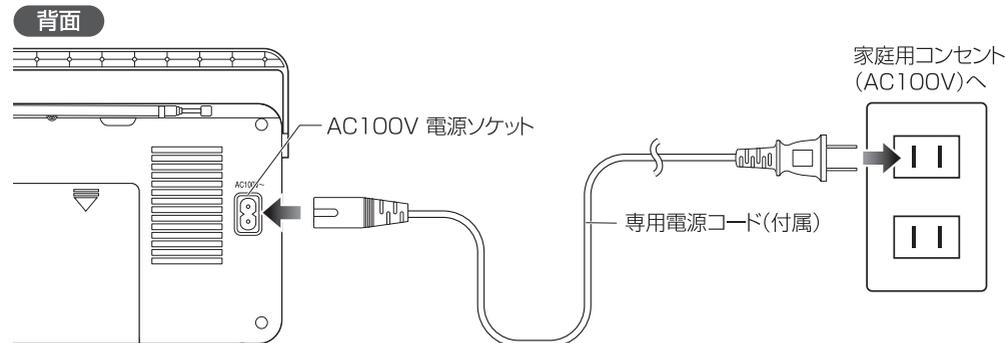
## 電源について

**!** 専用電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、必ず事前に電源を切ってください。

### 家庭用コンセントで使う場合

専用電源コード(付属)を使って、本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを確実に接続します。

- 乾電池が入っている場合でも、専用電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
- 本機を使用しないときは、本機及び家庭用コンセントから専用電源コードを抜いてください。



**重要** 付属の専用電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には、必ず付属の専用電源コードをお使いください。また、付属の専用電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

### 乾電池で使う場合

アルカリ乾電池のご使用をお勧めします。

※長時間使用するときは付属の専用電源コードをお使いください。

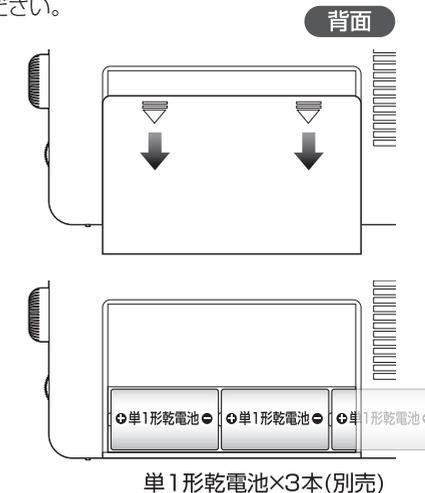
- 1 電池ボックスカバーを開けます。

▽マークのところを押しながら、下にスライドさせてください。

- 2 単1形乾電池×3本(別売)を、  
⊕ ⊖の向きに注意しながら  
図のように正しく入れます。

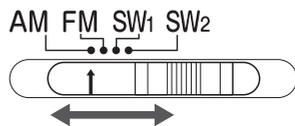
コイルばねのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。

- 3 乾電池を入れたら、電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。



## ラジオを聴く

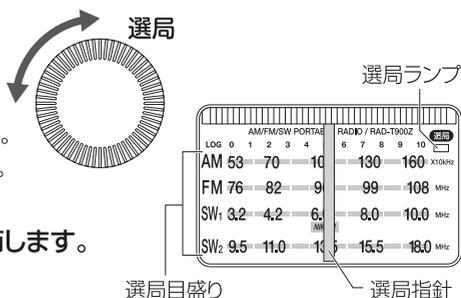
- 1** お聴きになりたいバンドに応じて  
バンド切換スイッチを合わせます。  
AM、FM、SW1、SW2いずれかの丸印(●)に  
スイッチの矢印(↑)を正しく合わせてください。



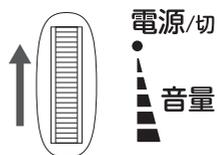
- 2** 電源／音量ダイヤルを下に回して、  
電源を入れます。  
カチッと音がして電源が入り、電源ランプ(赤)が点  
灯します。音量は絞った状態にしておいてください。



- 3** 選局ツマミを回して  
お聴きになりたい  
放送局の周波数に合わせます。  
選局指針と選局目盛りを見ながら操作してください。  
良好な状態で受信すると、選局ランプが点灯します。



- 4** 電源／音量ダイヤルを回して、音量を調節します。  
音量の上げすぎにご注意ください。

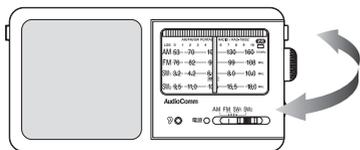


- 5** 電源を切るときは、  
電源／音量ダイヤルを  
カチッと音がするまで上に回します。  
電源ランプ(赤)が消灯します。

### 受信状態を良くするには

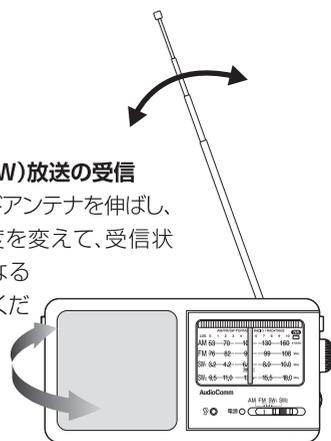
#### ●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



#### ●FM・短波(SW)放送の受信

FM / SWロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節してください。



#### ご注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。
- 持ち運ぶときは目をついたりして危険ですので、FM / SWロッドアンテナを縮めてください。

### 短波(SW)放送について

- 短波は地上70～500kmにある電離層に反射する特性があり、地表と電離層の間を遠くまで進むため、地球の裏側で発せられた短波放送を日本でも受信することができます。
- 短波放送は国際協定により、放送局ごとに使える周波数帯が割り当てられています。本機で短波放送を聴くときは、受信したい放送局の周波数帯に応じてSW1(3.2～10.0MHz)またはSW2(9.5～18.0MHz)をバンド切換スイッチで選んだ後、選局ツマミで各放送局の周波数に合わせてください。
- 短波放送は電波の伝わりかたが季節によって変化する特徴があります。夏は高い周波数、冬は低い周波数のほうがよく伝わります。そのため各放送局は複数の周波数を使うとともに、年に何回か周波数の変更を行っています。また、混信が発生した場合も周波数修正を行なっています。

### <ラジオNIKKEIについて>

ラジオNIKKEIには投資や株式のビジネス情報から、英会話などの教育番組や競馬情報などのエンターテインメントまで、あらゆる情報が満載です。

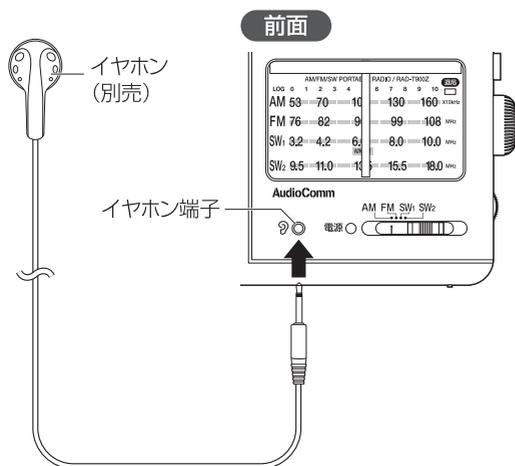
詳細は<https://www.radionikkei.jp/>をご参照ください。

第1放送	6.055MHz (3.925MHz：朝夕、9.595MHz：緊急時)
第2放送	6.115MHz (3.945MHz：19時以降、9.760MHz：緊急時)

### FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

## イヤホンで聴くときは



- 別売のイヤホン(φ3.5mmミニプラグ)をイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用时、イヤホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は乾電池でご使用ください。

## 故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグは正しく家庭用コンセントに接続されていますか。</li> <li>●乾電池は正しく入っていますか。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> </ul>
ラジオの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バンド切換スイッチが正しくバンド表示位置にありますか(ずれていませんか)。</li> <li>●音量が最小になっていませんか。</li> <li>●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。</li> </ul>
ラジオに雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くで携帯電話を使用していませんか。</li> <li>●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。</li> </ul>

## お手入れのしかた

お手入れを始める前に、必ず電源を切ってください。

- 本機表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 電源プラグにほこりがたまると、発火する危険があります。電源プラグを家庭用コンセントから抜いて時々清掃してください。



シンナー、ベンジン、  
アルコールは  
使用しないでください。

## 主な仕様

電源	AC 100V 50 / 60Hz
	DC4.5V 単1形乾電池×3本(別売)
定格消費電力	3.5W
実用最大出力	800mW
受信周波数	AM : 530~1605kHz
	FM : 76~108MHz(ワイドFM対応)
	短波(SW1) : 3.2~10.0MHz 短波(SW2) : 9.5~18.0MHz
乾電池での連続使用可能時間の目安 ※1	スピーカー使用時 : AM / 約72時間 FM / 約70時間 短波 / 約70時間
	イヤホン使用時 : AM / 約114時間 FM / 約108時間 短波 / 約108時間
スピーカー	口径102mm(6Ω)
端子	φ3.5mmイヤホン端子(モノラル)
外形寸法	幅265×高さ130×奥行61mm(キャリーハンドル含まず)
質量	約670g(乾電池を含まず)
付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書

※1 新品のアルカリ乾電池新品使用・音量中程度の場合の目安です。使用状況により異なります。

※ 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※ 本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

- 保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。